

事務事業名	町道・歩道・駐車場等維持管理事業	所属 部門	環境土木課 道路公園維持係
町長公約			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・町道・歩道・駐車場を安全に使用するための維持管理事業 ・町道草刈、清掃、区画線、標識、スノーポール、防雪柵、橋梁等の維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) 町道、歩道、駐車場、橋りょう等の公共土木施設
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ライフラインである町道、歩道、駐車場及び橋りょうの適切な維持管理及び施設の長寿命化
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 住民への円滑な道路交通網の確保及び河川環境の保全、居住環境を確保する。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 維持補修実施件数	件
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 道路延長	km
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 維持補修実施率	%
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円				15,801,000		
	一般財源	円	210,130,191	190,920,594	184,345,377	165,803,000	181,604,000	181,604,000
	事業費計	円	210,130,191	190,920,594	184,345,377	181,604,000	181,604,000	181,604,000
活動指標	①	件	526	573	472			
	②							
	③							
対象指標	①	km	923	923	923			
	②							
	③							
成果指標	①	%	100	100	100			
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	56.7	51.2	58.0			
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 平成27年から道路施設維持管理業務を民間委託し、道路及び河川のパトロール強化、円滑な道路交通網の確保並びに河川環境保全は向上している。本委託業務を実施してから9年が経過し、受託業者との意見交換や情報共有により、業務内容の精度が向上している。 近年は道路施設の老朽化に加え、局所的な豪雨及び大雨が多発傾向にあるため、維持管理箇所の経費が増加傾向にある。	2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法) 道路施設維持管理業務の継続的な業務実施のため、受託業者と密に打合せや定例会を開催し、道路維持管理の徹底化を図り、道路利用者など第三者被害防止と円滑な道路交通網を確保する。 経年劣化や凍上に伴う公共土木施設の損傷が著しいことから、長寿命化に配慮した維持修繕を図る。また、近年の局所豪雨や大雨による被害が増加傾向にあることから迅速に出動できる態勢及び砂利など、安全資機材のストックを維持し、道路損傷による事故を防止する。 2025年度にパトロール車両の更新を計画している。
---	---

事務事業名	道路・河川パトロール事務	所属 部門	環境土木課 道路公園維持係
町長公約			
簡易シートを 選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみ事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業 <input type="checkbox"/> 成果の説明に反映しない		

〔事業の概要・現状・課題〕

住民の円滑な道路交通網の確保、河川環境の保全及び居住環境の確保を図るため、資機材等の運搬に必要な維持管理車両(シングル・ダブルキャブ)を維持するための事務である。
近年は局所的な豪雨や大雨が多発しており、道路の洗堀・路肩崩落が頻繁に発生しているため、緊急的な通行規制の頻度は高くなっている。

〔2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法〕

日常的な道路・河川の維持管理の他に大雨や台風時の緊急的なパトロールの強化、円滑な道路交通網の確保及び居住環境の保全が求められることから、維持管理車両の適正な管理及び継続的な更新計画を作成する。
維持管理車両の更新は2027年度にダブルキャブ、2029年度にシングルキャブを計画している。

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	913,042	820,102	870,614	736,000	736,000	736,000
	事業費計	円	913,042	820,102	870,614	736,000	736,000	736,000

事務事業名	横断歩道橋維持管理・除排雪事業	所属 部門	環境土木課 道路公園維持係
町長公約			

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) 巡回警備は1日2回、歩道橋、エレベーターは1日1回、ガラス清掃は年2回委託、エレベーター点検は月1回の遠方監視の委託、冬季間の横断歩道橋の除排雪作業の委託
2. 対象(何を対象にしているか) 不特定多数の通行人、車いす利用者及びJR北海道旅客等車両
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) 通行人、車いす利用者の利便性の向上と安全性の確保並びにJR北海道旅客等車両の安全運行
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) 通行人、車いす利用者の利便性の向上と安全性の確保並びにJR北海道旅客等車両の安全運行

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 清掃回数	回
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 道路利用者(町民)	人
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 通行止め期間	日
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
事業費	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円						
	一般財源	円	1,892,459	1,948,523	1,951,713	2,374,000	2,374,000	2,374,000
	事業費計	円	1,892,459	1,948,523	1,951,713	2,374,000	2,374,000	2,374,000
活動指標	①	回	365	366	365			
	②							
	③							
対象指標	①	人	18,117	17,983	17,837			
	②							
	③							
成果指標	①	日	0	0	0			
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	56.7	51.2	58.0			
	②							
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 駅東跨線橋(横断歩道橋)のエレベーター棟及び設備は平成11年に竣工したものであり、2024(令和6)年で25年となる。近年は地球温暖化の影響もあり、凍結・融解を繰り返すことで氷柱(つらら)が発生し、施設の老朽化も進んでいる。	2. 今後の取組 (2024年度及び2025年度以降の方向性・課題の解決方法) 一般的にエレベーターの制御盤等の部品は、製作から25年経過後からメーカーとして製造中止となることが多いが、本機については引き続き部品を製造することであり、毎月の点検を注視しながら、利用者の安全第一に維持管理を実施する。JR北海道旅客等車両の安全運行のため、JR職員と連携し、横断歩道橋部(線路上部)の氷柱(つらら)除去を実施する。
---	--